

Let's

Go to work!

営業拠点めぐり

今号のナビゲーター(案内人)の
松田がinformation bridgeを
ご利用頂いたお客様のもとへ
お伺いし、対談するコーナーです。

新潟県 今日は 株式会社上越商会 様

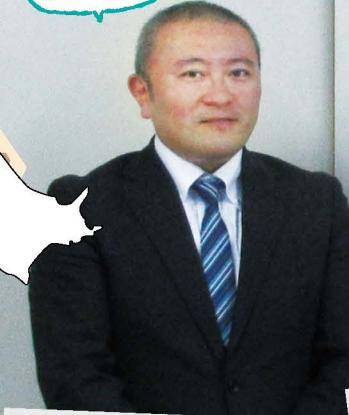


NIIGATA



Navigator
営業担当
松田 良幸

現場代理人
室岡清彦様



松田

貴重なご意見ありがとうございます。前向きに検討させていただきます。

最近言われている働き方改革について、現状はどうでしょうか?

室岡様

現場の仕事がメインになりますので、生産性を向上するためのシステムを導入し、会社に帰ってからの作業が少なくなれば残業は減ると思います。また、会社単位で働き方改革に取り組むのは限界があると思うので、建設業界の団体として取り組みを進めてほしいですね。

松田

残業をなくすだけでなく、現場環境を整備する必要があるんですね。

特に工事現場で必要なものは何だと思いますか?

室岡様

最近では、ウェアラブルカメラで現場を見れるような仕組みが便利だと思います。しかし、通信環境や費用の問題もあり、中小企業単独での導入は難しいですね。

受注者に負担させる方法ではなく発注者には導入してほしいと思います。機器の煩雑な取り扱いへの支援が少ないと現場代理人の知識がないということで導入ができていない会社もあると思います。

松田

生産性向上のための最新の技術にも対応が追われますね。最近では土木の現場にも女性を見受けられますが、土木で働く女性をどう思いますか?

室岡様

女性の土木技術者は昔よりは増えていますね。他社さんでも女性の管理者はいましたが、女性を起用したいがどうすればいいか悩んでいる企業も多く、まだ、土木で女性が活躍できていないと思います。

女性を起用するためには、環境設備が必要で経費もかかると思いますし、現場で活躍している人間の比率では男性が多いので、女性が現場に入るのは勇気がいることだと思います。

しかし女性が土木で働くことはいいことだと思うので、活躍する女性が増えてほしいですね。

松田

貴重なご意見ありがとうございます。

今後は女性活躍も視野に入れ、現場の生産性向上のため、尽力していきたいと思います。

本日はありがとうございました。

パソコンが苦手な方でも 利用できるシステムが理想

松田 今日は弊社の情報共有システム information bridge を北陸地方整備局の発注工事で長年ご利用いただいている上越商会の室岡様にインタビューをしていきます。早速ですが、弊社の情報共有システムをご利用いただく理由を教えてください。

室岡様 私はパソコンを自作したりもするんですが、それからみた観点でも「information bridge」は直感的に操作できるように作られているなと思います。
パソコンが苦手な人は打ち込みが苦手でマウスしか使えない人が多いですが、アイサスのシステムは大体の操作はマウスでできるようになっており、使いやすいため利用しています。5, 6年は利用していますね。

松田 いつもご利用ありがとうございます!
情報共有システムをご利用して、どのような業務が効率化されましたか?

室岡様 紙でのやりとりでは、資料を作るのが大変でした。発注者が5人いれば5部作らないといけないのが非常に手間で、打合せのたびにものすごい量の資料を作成して大変だったのを覚えています。
情報共有システムを利用すれば、その場で書類を送信することが可能で、書類提出に出向く時間が削減でき、現場に常駐できるようになりました。このメリットは大きかったです。

松田 業務の効率があがり、私もうれしいです。
室岡様は長年ご利用されていますが、ご要望はありますか?

室岡様 下請けの会社の人は情報共有システムの工事関係者として登録できないので、下請けの会社の人にデータを送る際はファイル転送サービスを使っています。
しかし、ファイル転送サービスのセキュリティが危険で、会社によって違う方法でデータを渡す必要がでてくるので、その方法が情報共有システムにあればうれしいですね。